

「そろばんタイムトラベラー」 発刊にあたって

白井そろばん博物館

館長 石戸謙一

算盤（そろばん）は十六世紀に中国から日本に伝来しました。その後、江戸時代になると商業が急速に発達して算盤の需要も高まり、形や使用方法も進化して現代に至っています。そこで算盤（そろばん）の歴史に目を向けていただきたくいろいろな角度からとりあげてみたいとかねてより思っていました。当館では歴史に関する難しい書籍等も発行しておりますが、今回はわかりやすく、親しみやすいお話しになるようにとマンガにすることにしました。その第一弾としていまままで時代が短かったため比較的注目されてはいませんでしたが算盤の普及率が高かった大正時代にスポットを当てて「日本マンガ塾」さんと協力して本冊子を発行いたしました。子供さんのもとより大人の方までより多くの方々にご愛読いただければ幸いです。そして算盤（そろばん）がこれからも日本の誇る教育・文化として発展してゆくことを願っております。

二〇二三年十一月吉日

参考資料

- ①大正時代の日本の人口 約5400万人
- ②労働者人口 約2600万人
- ③大正時代の農業従事者以外の人口 約1100万人
- ④大正時代の算盤生産数 約230万丁
- ⑤大正時代の算盤ができる+学習者人口 推計200万人

人口問題研究所、播州算盤、一般財団法人全国珠算連盟等の資料より推計